

体育学・スポーツ学を専門分野とし、
総合的リハビリテーションに関わる人材を養成

リハビリテーション体育学科では、体育・スポーツ科学、運動などの分野に主眼をおきつつ、障害のある人の健康に関わる専門的な技能と諸課題を解決できる研究能力を備えた実務家を養成することをめざしています。近年、障害のある人の生活習慣病予防やアダプテッドスポーツ支援・開発など、健康増進にかかわる運動・スポーツのニーズは多様化、高度化してきています。拡大するこれらのニーズに対応した実践・研究・教育力のある専門性の高い技術者の確保が課題となっています。

障害のある人に対する運動指導者

障害のある人の健康増進に向けたスポーツ・運動処方については、なお十分に普及しているとは言い難いのが現状です。こうした支援についての必要性は認められてはいるものの、そのニーズに応える運動指導の専門家を育成する機関は当学科だけです。

医学的根拠に基づいた実践的な運動指導者
養成の期待に応えます

運動やスポーツによって障害のある人の心身（病態生理など）にはどのような応答や適応現象が起きるのか、起こる事柄を実験や観察などに基づいて客観的かつ具体的に記述することや、なぜかを説明していくことが求められます。当学科では、それを達成するための実践的な研究手法の習得を学習する環境を整えています。



あなたは、
夢に挑戦している障害のある人に
“力”
を与えることができます！

リハビリテーション体育学科に関する最新情報は
こちらからご確認ください。

▼ <http://com-s.rehab.go.jp/www/College/japanese/yousei/rs/index.html>

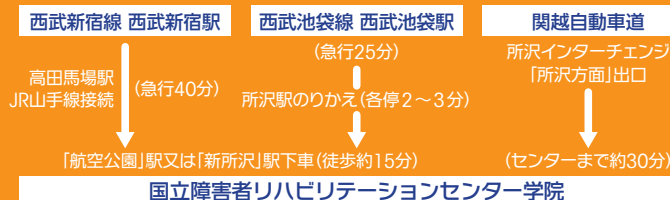
- ・新着情報
- ・入試情報



オープンキャンパス、学校説明会も開催予定です。
日程が決まり次第サイトでご案内しますので、
ご参加ください。

関連サイト リハビリテーション体育学科卒業生のサイト（RSネット）
▼ <http://rsnet.mond.jp/about/index.html>

交通案内



お問い合わせ

国立障害者リハビリテーションセンター 学院係
〒359 - 8555 埼玉県所沢市並木 4 - 1
電話：04 (2995) 3100 (内線) 2615
E-mail：ga_you@rehab.go.jp (養成主事)



障害のある人に
健康で快適な
ライフスタイルを
リードする

スポーツ・運動
プログラミングの
専門家をめざす

リハビリテーション体育学科

 国立障害者リハビリテーションセンター学院
College, National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities



高度な専門性を備えた運動指導者を養成

障害のある人に安全で効果的な運動を提供するためには、個人のニーズをはじめ障害特性や身体状況を分析し、性格などを見極めてプログラミングすることが重要です。その上で楽しさや取り組みやすさ、続けやすさを考慮した種目や支援法を開発するなど、障害のある人一人ひとりに応じたスポーツ・運動プログラムの手法を学び、より社会に役立つための専門家の途を一緒に目指しましょう。

リハビリテーション体育は、障害のある人に対して、一人ひとりの“思いや願い”に応じたスポーツ・運動プログラムを提供します。

アドミッション・ポリシー

本学科の使命は、障害のある人の健康増進にかかわる体育学・スポーツ学・障害科学を含む学術の創生と研究および臨床・指導などの実践を行う“運動指導者”を養成することです。自らの興味・関心を生かして主体的に幅広く学び、人間的成長への強い意欲を持った体育系、教育系などの保健体育教員専門領域の大学修了者を歓迎します。

カリキュラム構成

■基礎科目（780時間）

心理学、統計・情報処理学、（機能）解剖学、（運動）生理学、運動発達学、スポーツ栄養学などの概論を学びます。

また、整形外科・内科・精神医学・老年医学・病理学などの医学概論や社会福祉概論など医療保健福祉に必要な知識を学びます。

■専門科目（1605時間）

各疾患・障害の運動処方やスポーツ支援に関する障害別の演習を多く取り入れ、理論に基づく実践法により技術を習得することができます。

他学科との合同授業もあり、学科間の垣根を越えたチームアプローチを体感できる教育環境を提供するとともに、これらの講義科目の一部は、医学系、スポーツ科学系、社会福祉系などの第一線で活躍する実践者や研究者、大学教員によって行われ、障害科学・医療の最前線を学ぶことができます。

カリキュラム概要

	運動・スポーツ	医学系	福祉・リハ
基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> 生理学・運動生理学 解剖学 トレーニング概論 心理学 統計学 コミュニケーション概論 体育管理学 など 	<ul style="list-style-type: none"> 整形外科学 リハビリテーション医学 臨床神経学 病理学 医学的検査・診断法 老年医学 運動学 など 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉概論 リハビリテーション概論 PT、OT、ST、PO概論 リハビリテーション工学 など
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> 運動処方学概論&演習 生活習慣病と予防 運動プログラム管理 など 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の理論と実際 運動負荷試験概論&演習 	
	<ul style="list-style-type: none"> 肢体不自由者、感覚・精神・知的発達障害・高齢者指導演習 セラピューティック ・運動解析学 競技別種目指導演習 ・競技大会演習 ・野外活動 など 		
	実習／研修		

1年次に理論と演習で習得した豊富な知識と技術を2年次に行う実践を通じて高めます。最大の特徴は、運動やスポーツを通して、個々の症例の回復から機能維持、健康管理、自己実現までシームレスに幅広く携われるところです。

応募資格

- (1)教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による保健体育の高等学校教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者（卒業見込みの者を含む）。
- (2)(1)と同等以上の知識及び技能を有すると当センター総長が認められた者。
※(2)については、お問い合わせください。

■修業年限 2年

■募集人員 20名

卒業後の資格

- 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が公認する「上級障がい者スポーツ指導員資格」が授与されます。
- 公益財団法人健康・体力づくり事業財団認定「健康運動指導士認定試験の受験資格」が得られます。

卒業後の進路

障害者関連施設（リハセンター、障害者支援施設、障害者スポーツセンターなど）や介護保険施設（介護老人福祉・介護老人保健施設など）、健康増進施設、教育機関（小・中・高・特別支援学校・大学教員）など様々な分野で活躍しています。

